

平成28年度予算に向けた個別公共事業評価
に関する資料（都市局関係事業）

平成28年3月

都 市 局

目 次

- 直轄事業等に関する個別公共事業評価結果一覧
 - ・平成 28 年度予算に向けた新規事業採択時評価について（直轄事業等） …… 2

- 平成 28 年度予算に向けた個別公共事業評価書 …… 3

直轄事業等に関する個別公共事業評価結果一覧

■平成28年度予算に向けた新規事業採択時評価について(直轄事業等)

・事業評価対象の直轄事業等(直轄事業および独立行政法人等施行事業(独立行政法人等が行う補助事業を除く。))を対象としたものである。

・事業評価の実施にあたっては、貨幣換算した便益だけではなく、貨幣換算することが困難な定量的・定性的な効果や事業の実施環境等を含めて総合的に評価を行っているが、本一覧においては、B/Cの算出を行った事業について、その値を記載している。

【都市公園等事業】

(直轄事業)

都道府県 (実施箇所)	事業名	全体事業費 (億円)	備考
北海道 (白老町)	国立の民族共生公園(仮称)	30	平成26年6月13日の閣議決定により、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターの一部として国立の民族共生公園(仮称)を整備することが定められており、当該公園の整備は閣議決定に基づき実施される国家的なプロジェクトであること、アイヌ文化の理解と交流の促進、アイヌ文化の継承や創造発展、地域活性化に寄与することをふまえて評価を実施した。

平成28年度予算に向けた個別公共事業評価書

<評価の手法等>

事業名 ()内は 方法を示す。*	評価項目		評価を行う過程 において使用した資料等	担当部局	
	費用便益分析				費用便益分析以外の 主な評価項目
	費用	便益			
都市公園等事業 (TCM、コンジョイント分析、CVM)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設費 ・維持管理費 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、レクリエーション空間としての利用価値 ・環境の価値 ・防災の価値 ・その他の効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画への位置付け ・安全性の向上 ・地域の活性化 ・福祉社会への対応 ・都市環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・国勢調査結果 	都市局

※効果把握の方法

TCM(トラベルコスト法)

対象とする非市場財(環境資源等)を訪れて、そのレクリエーション、アメニティを利用する人々が支出する交通費などの費用と、利用のために費やす時間の機会費用を合わせた旅行費用を求めることによって、その施設によってもたらされる便益を評価する方法。

コンジョイント分析

仮想状況に対する選好のアンケート結果をもとに、評価対象資本の構成要素を変化させた場合の望ましさの違いを貨幣価値に換算することによって評価する方法。

CVM(仮想的市場評価法)

アンケート等を用いて評価対象社会資本に対する支払意思額を住民等に尋ねることで、対象とする財などの価値を金額で評価する方法。

平成28年度予算に向けた新規事業採択時評価について

【公共事業関係費】

事業区分		新規事業採択箇所数
都市公園等事業	直轄事業	1
合計		1

【都市公園等事業】

(直轄事業)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	供用後の 維持管理費 (億円)	評 価	担当課 (担当課長名)
国立の民族共生公園（仮称） 北海道開発局	30	10	アイヌの伝統的な儀式・儀礼等を行う場や古式舞踊等のアイヌ文化を体験する施設、自然環境を活かした憩いの場の整備等を行うことにより、アイヌ文化の理解と交流の促進、アイヌ文化の継承や創造発展、地域活性化に寄与する。	都市局公園緑地・景観課 (課長 榎野 良明)

・ 供用後の維持管理費は50年間に掛かる費用を現在価値化したものである。